

月ハ平低水量ノ中間ヲ使用スルヲ可トス、本川流域ハ本道ノ東北隅ニアリテ開拓遅ク交通ノ便宜ニ開ケサルモ河口ニアル斜里港ハ早クヨリ舟楫ノ航行アリ尙目下計劃中ノ釧路ヨリ本川中流部沿岸ヲ經テ網走ニ至ル鐵道線路ノ開通ヲ見ルニ至ラハ頗ル便トナルヘク工用材料ハ海路或ハ陸路ニヨリ輸送スルヲ得ヘシ

### 第二十二章 忠類川水系

#### 第一節 概説

本川ハ根室國ノ稍中央狹隘部ヲ横斷スル河川ニシテ其ノ源ヲ根室北見ノ國境サマツケヌプリ岳ニ發シテ東北ニ流レ瑠邊斯ニ於テ東ニ向ヒ幾多ノ溪流ヲ合セツツ急峻ナル山岳ノ間ヲ縫流シ更ニ東南ニ流レ絲櫛別ニ至リ兩岸ニ農耕地ヲ展開シ水流漸次緩トナリ忠類ニ於テ根室海峡ニ注ク此ノ流程約一〇里トス本川流域ハ東西ニ長ク約七里半幅ハ上流部最廣キ處ニテ約三里アリテ下流ニ至ルニ從ヒ狹ク地勢概ネ西ヨリ東ニ向ヒテ傾斜ス、本川ハ小河川ニシテ支流ノ見ルヘキモノナシ由來根室國ハ地勢一般ニ緩

傾斜ヲナシ水力利用ニ適スル河川ニ乏シク本川ハ土語チウ、ルイ、ベツトニテ流レ急ナル川ノ義ナル由ニテ國內唯一ノ落差アル河川ナルモ附近容易ニ開拓サレズ未タ之カ利用ヲ見ルニ至ラス

#### 第二節 忠類川

一、流域 本川流域ハ根室國目梨郡忠類村ノ大部ヲ占メ形略桑葉狀ヲ呈シ面積一・四三方里アリ内利用シ得ヘキ面積八六〇方里トス流域内西ハ根室北見ノ國境千島火山脈ニシテサマツケヌプリ岳一〇六七米聳ヘ本川ノ水源ヲナシ南ハ目梨標津ノ郡境山脈連リテ中流部ニベクンネウシヌプリ岳九五八米アリ上流部ハ山岳重疊シ地勢急峻ナルモ中流部以下ハ漸次山勢衰ヘ絲櫛別附近ヨリ下流ハ緩傾斜ノ原野ヲ展開ス、地質ハ絲櫛別附近ヨリ上流ハ本川沿岸一帯上部第三紀層ヲナシ他ハ安山岩ニシテ下流部ハ第四紀層ナリ、林野狀態ハ稍良好ニシテ山林地ハ絲櫛別附近ヨリ上流ノ略水力利用範圍内ヲ占メ流域面積ノ約八割ニシテ九〇方里耕作地約二割ニシテ其ノ面積二四方里アリ山林地ハ殆ト國有林ニシテ約九割五分ヲ占メ民有林約五分アリ國有林ハ良好ナル密林ニシテ上流部ニ全面積ノ約

三割ニ當ル針葉樹林アリ他ハ凡テ針葉樹六割、闊葉樹四割ノ針闊混生林ヲナシ民有林ハ疎林ニシテ闊葉樹ヲ存ス、而シテ針葉樹ハ「エゾマツ」「トドマツ」ニシテ闊葉樹ハ「ナラ」「アカダモ」「イタヤ」ノ類多ク樹齡四十年以上ニ達ス、森林ハ凡テ自然林ニシテ國有林ハ擇伐ヲ行ヒ漸次植林ヲ行フ伐採ハ年約三萬石ヲ算ス流域内地目ハ前述ノ如クニシテ沿岸農耕地ヨリハ豆類、麥類、馬鈴薯等ヲ産ス、温泉ハ二箇所アリ一ハ瑠邊斯ノ南方ニアル湯ノ澤温泉ニシテ凝灰岩ノ間ヨリ食鹽泉ヲ湧出シ他ハ右支、ソーケシヨマナイ川ノ上流ニアリ

#### 二、河川狀況 本川上流部ハ峻嶮ナル山岳ノ間ヲ縫流シ

忠類川水力地點表 水量、落差ニ\*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水路	流域面積	能發電	年平均馬力數	等級
一五五	忠類川	一	根室國目梨郡忠類村 ソウキツプカオマ 瑠邊斯 落合	同 郡 忠類村 ソーケシヨマナイ 金山 落合上	湧水* 四六 低水* 五二 平水* 一〇七	* 二〇八	一、〇六二 一、一〇一 二、四七〇	二、二九〇	五、八〇〇	一〇〇〇 九七〇 九三〇	一、〇七一 一、一三五 二、二九七	甲
一五六	同	番外	根室國目梨郡忠類村 ソーケシヨマナイ 金山 落合	同 郡 忠類村 ホニビラ	湧水* 六九 低水* 七七 平水* 一五八	* 一一一	九二七 一、〇三四 二、一三二	二、四五六	八、六〇〇	一〇〇〇 九七〇 九三〇	九二七 一、〇三三 一、九七三	甲

水面勾配稍急ニシテ河岸河床共岩盤ヲ露出シ下ルニ從ヒ河岸次第ニ高ク字金山ニ至リ右支、ソーキツプカオマナイ川ヲ合スルヤ水勢益加リテ約七〇分ノ一ヲ示シ河岸砂礫及土砂層ニシテ河床砂利層多ク字絲櫛別附近ヨリ下流ハ水勢緩トナリ忠類ニ到リテ海ニ注ク河水ハ常ニ稍清澄ニシテ土砂其ノ他ノ浮游物少シ、本川ハ流量調査ヲナササルモ森林狀態良好ナルヲ以テ流量稍豊富ニシテ其ノ變化比較的少ク概定流量ハ平水量一八四個低水量九〇個湧水量八〇個トシ平水湧水量ノ比二・三低水湧水量ノ比一・一トス、冬季結氷ハ十二月中旬ヨリ翌年三月下旬間ニシテ融氷期三月下旬頃ヨリ四月上旬ニ於テ流水アリ

三、治水及水利 本川ハ洪水ニヨル被害稀ニシテ治水事業ノ計劃ナク下流部沿岸ハ稍農耕地ニ富ムモ未タ水田開拓サレス灌溉用水關係ナシ木材ノ流送ハ製紙原料及建築用材ニシテ「エツマツ」「トドマツ」「ナラ」等ヲ主トシ長サ一二尺徑二尺ニシテ融雪期出水時ニ於テ散流ニヨリ年約一萬石ヲ流送ス

四、水力地點 本川ハ良好ナル森林ヲ有シ水量比較的豐富ニシテ加フルニ絲櫛別ヨリ上流ハ稍急勾配ノ山岳迫リ水面勾配急ニシテ上流部ハ所々岩盤ヲ露出シ下ルニ從ヒ河岸土砂層河床ハ砂利層ヲナシ水力利用ニ適ス本川ハ僻遠ノ地ニアリテ附近一帶拓殖ノ見ルヘキモノナク之カ利用ト相俟チテ開拓ニ努ムルハ亦急務ナリトス

水力地點ノ説明 順位一五五地點ノ水路ハ右岸ニ沿ヒ開渠ヲ可トシ取入口假締切工事等凡テ容易ナリ 順位一五六地點ハ前地點ノ下流ニ取入レ水路ハ開渠ヲ以テ右岸ニ通スルヲ可トシ取入口ハ岩盤ニシテ工事ハ凡テ容易ナリ、本川水力利用範圍ハ金山ヨリ下流絲櫛別ニ至ル二里半間ニシテ此ノ踏査總落差約三八〇尺ナリ、交通ハ不便ニシテ只海岸及河川沿岸ニ道路アルニ過キス工事用材料ノ蒐集亦

困難ナリ